

令和 7 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	キャリアプログラム I	Career Development I
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科	
3	授業方法・単位	講義	単位数 1 単位
4	学年・期	1年前期	
5	到達目標	将来の自分のキャリアプランニングの立て方について基礎となる知識を学びます。	
6	授業の概要	進学準備として、自己研究から始まり、履歴書の作成(自己PR・志望動機)、試験のエントリーシート対策・面接試験対策など、就活全般の基本を学び始めます。	
7	成績評価方法	□筆記テスト ■レポート □作品制作 □課題&実習 □その他()	
		100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2／3未満の場合には、成績評価の対象外となる。	
8	授業計画および学習内容		
	週・1回	週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など	
	1	キャリアプランの大切さを知ろう	
	2	「働く」ってどんなこと？	
	3	人生のマネープランを立てよう	
	4	専門学校での2年間をどう過ごす？	
	5	将来のことを考えるための自己理解	
	6	自分の強みを見つけよう	
	7	適職を見つけよう	
	8	業界と職種を知ろう	
	9	「社会人基礎力」は身につけていますか？	
	10	就職活動の流れを知ろう	
	11	スケジュールを考えよう	
	12	ハローワークに登録してみよう	
	13	企業にアプローチ(エントリー)しよう	
	14	情報収集して視野を広げよう	
	15	企業にアプローチ(エントリー)しよう	
	16	就職フェアに参加してみよう	
	17	会社訪問をしてみよう①	
	18	会社訪問をしてみよう②	
	19	会社訪問をしてみよう③	
	20	単位認定試験	

令和 7 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	キャリアプログラムⅡ	Career Development Ⅱ	
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	講義	単位数	2 単位
4	学年・期	1年後期		
5	到達目標	自分の理想に合ったキャリアを想定し、達成するための具体的な学習計画を練ったり、必要な試験に備えます。		
6	授業の概要	就職活動の準備として、ハローワークや就職情報会社の担当者から最新の就職環境状況をレクチャーしてもらい、目指す業界・企業の研究、職種の適性の研究に本格的に着手します。		
7	成績評価方法	□筆記テスト ■レポート □作品制作 □課題&実習 □その他()		
		100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2／3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	授業計画および学習内容			
	週・1回	週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
	1	話し方トレーニング①		
	2	話し方トレーニング②		
	3	敬語①		
	4	敬語②		
	5	イントネーション①		
	6	イントネーション②		
	7	自己分析①		
	8	自己分析②		
	9	進路調査		
	10	進路調査		
	11	進路調査		
	12	進路調査		
	13	自己PR作成①		
	14	自己PR完成②		
	15	志望動機作成①		
	16	志望動機完成②		
	17	履歴書作成①		
	18	履歴書作成②		
	19	面接練習		
	20	単位認定試験 完成履歴書提出		

令和 7 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	パソコン演習 (Word)		Computer Exercise(Word)
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	演習	単位数	1 単位
4	学年・期	1年前期		
5	到達目標	マイクロソフト社の文書作成ソフトであるワードの操作方法を学び、会社の仕事に必要なビジネス文書作成ができる力を身につけます。また日本語ワープロ検定の資格取得を目指します。		
6	授業の概要	日本語ワープロ検定の資格取得のためにブラインドタッチ、正しい入力方法、基本的な書類作成スキルを身に着けます。		
7	成績評価方法	□筆記テスト □レポート □作品制作 □課題&実習 ■その他(実技試験)		
		100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2／3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	授業計画および学習内容			
	週・1回	週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
	1	PCの基本操作		
	2	WORDの基本操作		
	3	文字		
	4	表		
	5	グラフィック		
	6	段落		
	7	書類作成(段落・グラフィック操作)		
	8	セクション、編集記号		
	9	総復習		
	10	単位認定試験		
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			
	17			
	18			
	19			
20				

令和 7 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	パソコン演習(Excel)		Computer Exercise(Excel)
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	演習	単位数	2 単位
4	学年・期	1年通年		
5	到達目標	マイクロソフト社の表計算ソフトであるエクセルの操作方法を学び、会社の仕事に必要な表作成、グラフ作成、データベース機能ができる力を身につけます。また、情報処理技能検定の資格取得を目指します。		
6	授業の概要	パソコンソフト「Excel」の基本操作を習得します。		
7	成績評価方法	□筆記テスト □レポート □作品制作 □課題&実習 ■その他(実技試験)		
		100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。 お、当該科目の出席率が2／3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	授業計画および学習内容			
	週・2回	週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
	1	情報処理技能検定試験(ワープロ)実施		
	2	データの入力と修正、計算式の入力、オートフィル機能		
	3	SUM・AVERAGE関数、セルの書式設定		
	4	相対参照と絶対参照、MAX・MIN・COUNT関数		
	5	ROUND・ROUNDUP・ROUNDDOWN関数		
	6	IF・AND・OR関数、関数のネスト		
	7	表示形式の設定、罫線の設定、並べ替え		
	8	RANK・LARGE・SMALL関数		
	9	VLOOKUP関数		
	10	表計算検定試験の演習		
	11	表計算検定試験の演習		
	12	表計算検定試験の演習		
	13	表計算検定試験の演習		
	14	表計算検定試験の演習		
	15	表計算検定試験の演習		
	16	表計算検定試験の演習		
	17	表計算検定試験の演習		
	18	表計算検定試験の実施		
	19	フィルター機能、ふりがなの設定、定期試験(入力10分測定)		
20	単位認定試験			

令和 7 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	校外研修 I		School excursion I
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	実習	単位数	1 単位
4	学年・期	1年通年		
5	到達目標	校外研修により、日本社会や協調性・コミュニケーションの必要性を学びます。		
6	授業の概要	業界や教育界に、座学では学習できない最前線の状況を実際に見学することで、体系的に体得する校外学習型授業です。研修内容、時期、研修場所は別途設定します。		
7	成績評価方法	□筆記テスト □レポート □作品制作 ■課題&実習 ■その他(参加状況)		
		100点満点とし、出席率(5割)、参加態度(3割)、その他(2割)を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2／3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	授業計画および学習内容			
	年・2回	週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
	1	校外研修事前学習①		
	2	校外研修①(終日4コマ分相当)		
	3	校外+C16:J18研修事後レポート提出①		
	4	校外研修事前学習②		
	5	校外研修②(終日4コマ分相当)		
	6	校外研修事後レポート提出②		
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			
	17			
	18			
	19			
	20			

令和 7 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	資格試験対策 I (JLPT)	Test Prep I (JLPT)	
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	講義	単位数	4 単位 (2科目選択合計)
4	学年・期	1年前期		
5	到達目標	日本語能力試験合格を目指し、実戦問題を解きながら、自分の弱点を見つけ出し、それを強化するべく問題形式に取り組みます。		
6	授業の概要	日本語能力試験の出題形式に沿った演習問題で、文法・文字語彙・読解・聴解の基礎的な力を養います。		
7	成績評価方法	□筆記テスト □レポート □作品制作 ■課題&実習 ■その他(出席率・授業態度)		
		100点満点とし、課題提出(6割)、出席率(2割)、授業態度(2割)を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2／3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	授業計画および学習内容			
	週・1回	週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
	1	文字・語彙対策		
	2	文字・語彙対策		
	3	文字・語彙対策		
	4	文法対策		
	5	文法対策		
	6	文法対策		
	7	文法対策		
	8	聴解対策		
	9	聴解対策		
	10	聴解対策		
	11	聴解対策		
	12	聴解対策		
	13	読解対策		
	14	読解対策		
	15	読解対策		
	16	読解対策		
	17	模擬試験・解説		
	18	模擬試験・解説		
	19	模擬試験・解説		
	20	模擬試験・解説		

令和 7 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	資格試験対策 I (EJU)	Test Prep I (EJU)	
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	講義	単位数	4 単位 (2科目選択合計)
4	学年・期	1年前期		
5	到達目標	留学試験は日本語科目の読解・聴解の問題形式に慣れます。		
6	授業の概要	試験の出題形式に沿った演習問題で、読解・聴読解・聴解の基礎的な力を養います。		
7	成績評価方法	■筆記テスト □レポート □作品制作 □課題&実習 □その他()		
		100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2／3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	授業計画および学習内容			
	週・1回	週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
	1	聴解・聴読解対策		
	2	聴解・聴読解対策		
	3	聴解・聴読解対策		
	4	聴解・聴読解対策		
	5	聴解・聴読解対策		
	6	聴解・聴読解対策		
	7	聴解・聴読解対策		
	8	聴解・聴読解対策		
	9	読解対策		
	10	読解対策		
	11	読解対策		
	12	読解対策		
	13	読解対策		
	14	読解対策		
	15	読解対策		
	16	読解対策		
	17	模擬試験・解説		
	18	模擬試験・解説		
	19	模擬試験・解説		
	20	模擬試験・解説		

令和 7 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	資格試験対策 I (TOEIC)		Test Prep I (TOEIC)
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	講義	単位数	4 単位 (2科目選択合計)
4	学年・期	1 年前期		
5	到達目標	TOEIC受験に向けての対策を行い、スコアアップを目標とする。		
6	授業の概要	TOEIC(L&R)の受験に向けた語彙力や読解・聴解力の向上を図り、TOEIC試験の傾向と対策を学びます。		
7	成績評価方法	■筆記テスト □レポート □作品制作 □課題&実習 ■その他()		
		100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。なお、当該科目の出席率が2／3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	授業計画および学習内容			
	週・1回	週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
	1	TOEIC練習問題 リスニング		
	2	TOEIC練習問題 リスニング		
	3	TOEIC練習問題 リスニング		
	4	TOEIC練習問題 リーディング		
	5	TOEIC練習問題 リーディング		
	6	TOEIC練習問題 リーディング		
	7	TOEIC練習問題 リスニング		
	8	TOEIC練習問題 リスニング		
	9	TOEIC練習問題 リスニング		
	10	TOEIC練習問題 リーディング		
	11	TOEIC練習問題 リーディング		
	12	TOEIC練習問題 リーディング		
	13	TOEIC練習問題 リスニング		
	14	TOEIC練習問題 リスニング		
	15	TOEIC練習問題 リスニング		
	16	TOEIC練習問題 リスニング		
	17	TOEIC演習問題 ①		
	18	TOEIC演習問題 ②		
	19	TOEIC演習問題 ③		
20	単位認定試験・解説			

令和 7 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	資格試験対策 I (TOEFL)		Test Prep I (TOEFL)
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	講義	単位数	4 単位 (2科目選択合計)
4	学年・期	1 年前期		
5	到達目標	TOEFL受験に向けての心がまえ、自身の学力を知り、適切な目標を設定する。		
6	授業の概要	TOEFL(iBT)の受験に向けた実践的な総合問題を扱い、高得点を目指す。		
7	成績評価方法	■筆記テスト □レポート □作品制作 □課題&実習 ■その他()		
		100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。なお、当該科目の出席率が2／3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	授業計画および学習内容			
	週・1回	週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
	1	TOEFL練習問題 リスニング		
	2	TOEIC練習問題 リスニング		
	3	TOEIC練習問題 リスニング		
	4	TOEIC練習問題 リスニング		
	5	TOEIC練習問題 リーディング		
	6	TOEIC練習問題 リーディング		
	7	TOEIC練習問題 リーディング		
	8	TOEIC練習問題 リーディング		
	9	TOEIC練習問題 スピーキング		
	10	TOEIC練習問題 リーディング &ライティング		
	11	TOEIC練習問題 リーディング &ライティング		
	12	TOEIC練習問題 リーディング &ライティング		
	13	TOEIC練習問題 リーディング &ライティング		
	14	TOEIC練習問題 リーディング &ライティング		
	15	TOEIC練習問題 リーディング &ライティング		
	16	TOEIC練習問題 リーディング &ライティング		
	17	演習問題 ①		
	18	演習問題 ②		
	19	演習問題 ③		
20	単位認定試験・解説			

令和 7 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	資格試験対策Ⅱ（JLPT）	Test Prep Ⅱ（JLPT）
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科	
3	授業方法・単位	講義	単位数 2単位 （2科目選択合計）
4	学年・期	1年後期	
5	到達目標	日本語能力試験合格を目指し、実戦問題を解きながら、自分の弱点を見つけ出し、それを強化するべく問題形式に取り組みます。	
6	授業の概要	日本語能力試験の出題形式に沿った演習問題で、文法・文字語彙・読解・聴解の基礎的な力を養います。	
7	成績評価方法	□筆記テスト □レポート □作品制作 ■課題＆実習 ■その他（出席率・授業態度）	
		100点満点とし、課題提出（6割）、出席率（2割）、授業態度（2割）を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2／3未満の場合には、成績評価の対象外となる。	
8	授業計画および学習内容		
	週・1回	週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など	
	1	文字語彙・聴解演習	
	2	文字語彙・聴解演習	
	3	文字語彙・聴解演習	
	4	読解・聴解演習	
	5	読解・聴解演習	
	6	読解・聴解演習	
	7	文字語彙模擬試験・解説	
	8	聴解模擬試験・解説	
	9	読解模擬試験・解説	
	10	文字語彙模擬試験・解説	
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
20			

令和 7 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	資格試験対策Ⅱ（EJU）	Test Prep Ⅱ（EJU）	
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	講義	単位数	2単位 （2科目選択合計）
4	学年・期	1年後期		
5	到達目標	11月の本試験へ向け、日本語科目の読解・聴読解・聴解の問題形式に慣れ、高得点を目指します。		
6	授業の概要	試験の出題形式に沿った演習問題で、得点力を養います。		
7	成績評価方法	■筆記テスト □レポート □作品制作 □課題&実習 □その他（ ）		
		100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2／3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	授業計画および学習内容			
	週・1回	週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
	1	試験の概要確認、クラスルーム登録、過去問題		
	2	読解		
	3	聴読解聴解		
	4	聴読解聴解		
	5	読解		
	6	聴読解聴解		
	7	聴読解聴解		
	8	読解		
	9	聴読解聴解		
	10	聴読解聴解		
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			
	17			
	18			
	19			
	20			

令和 7 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	資格試験対策Ⅱ（TOEIC）		Test Prep Ⅱ（TOEIC）
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	講義	単位数	2 単位 （2科目選択合計）
4	学年・期	1年後期		
5	到達目標	TOEICで600点獲得するためのトレーニングを行う		
6	授業の概要	TOEIC(L&R)の受験に向けた実践的な総合問題を扱い、日本の企業で評価される標準点を目指す。		
7	成績評価方法	■筆記テスト □レポート □作品制作 □課題&実習 ■その他（ ）		
		100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2／3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	授業計画および学習内容			
	週・1回	週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
	1	オリエンテーション		
	2	Unit 1		
	3	Unit 2		
	4	Unit 3		
	5	Unit 4		
	6	Unit 5		
	7	Unit 6		
	8	Unit 7		
	9	Unit 8		
	10	単位認定試験		
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			
	17			
	18			
	19			
	20			

令和 7 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	資格試験対策Ⅱ（TOEFL）		Test Prep Ⅱ（TOEFL）
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	講義	単位数	2 単位 （2科目選択合計）
4	学年・期	1年後期		
5	到達目標	TOEFL受験に向けての対策を行い、スコアアップを目標とする。		
6	授業の概要	TOEFL(iBT)の受験に向けた実践的な総合問題を扱い、高得点を目指す。		
7	成績評価方法	■筆記テスト □レポート □作品制作 □課題&実習 ■その他（ ）		
		100点満点とし、定期試験（6割）、ミニテスト（1割）、出席率（1割）、授業態度（1割）、その他（1割）を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2／3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	授業計画および学習内容			
	週・1回	週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
	1	TOEFL練習問題 Reading		
	2	TOEFL練習問題 Listening		
	3	TOEFL練習問題 Listening		
	4	TOEFL練習問題 Speaking Independent Task		
	5	TOEFL練習問題 Speaking Integrated Task		
	6	TOEFL練習問題 Writing Independent Task		
	7	TOEFL練習問題 模擬試験①		
	8	TOEFL練習問題 模擬試験②		
	9	TOEFL練習問題 模擬試験③		
	10	単位認定試験		
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			
	17			
	18			
	19			
	20			

令和 7 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	English Communication I		
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	講義	単位数	1 単位
4	学年・期	1年前期		
5	到達目標	英語の基本的な語彙を確認しながら、自分で意見を言うことができるようになる		
6	授業の概要	英語基礎能力を高めながら、自身の英会話能力を客観的に確認しながら進める授業内容です。		
7	成績評価方法	□筆記テスト □レポート □作品制作 □課題&実習 ■その他(発表)		
		100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2／3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	授業計画および学習内容			
	週・1回	週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
	1	Introduction		
	2	Unit1 Getting acquainted		
	3	Unit1 Activities		
	4	Unit2 Expressing yourself		
	5	Unit2 Activities		
	6	Unit3 Crime and Punishment		
	7	Unit3 Activities		
	8	Unit4 Surprises and Superstitions		
	9	Unit4 Activities		
	10	Review Session		
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			
	17			
	18			
	19			
20				

令和 7 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	English Communication II		
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	講義	単位数	2 単位
4	学年・期	1年通年		
5	到達目標	英語の基本的な語彙を確認しながら、自分で意見を言うことができるようになる		
6	授業の概要	英語基礎能力を高めながら、自身の英会話能力を客観的に確認しながら進める授業内容です。		
7	成績評価方法	■筆記テスト □レポート □作品制作 □課題&実習 ■その他()		
		100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2／3未満の場合には、成績評価の対象外となる		
8	授業計画および学習内容			
	週・1回	週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
	1	Unit5 Education and Learning		
	2	Unit5 Activites		
	3	Unit6 Fame and Fortune		
	4	Unit6 Activites		
	5	Unit7 Around the world		
	6	Unit7 Activites		
	7	Unit8 Technology		
	8	Unit8 Activites		
	9	Unit9 Mind and body		
	10	Unit9 Activities		
	11	Unit10 Spending money		
	12	Unit10 Activites		
	13	Unit11 The news		
	14	Unit11 Activites		
	15	Unit12 Relationships		
	16	Unit12 Activities		
	17	Unit13 Adventure		
	18	Unit13 Activites		
	19	Review		
20	単位認定試験			

令和 7 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	BasicEnglish		
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	講義	単位数	1 単位
4	学年・期	1年前期		
5	到達目標	最初に覚えるべき基本的な単語や文法を使って、シンプルにコミュニケーションできるようにする。		
6	授業の概要	基礎英会話能力と、レストランでのオーダー、ホテルチェックイン、電車の乗り方など、様々な場面での実践的英会話の基礎を習得します。		
7	成績評価方法	■筆記テスト □レポート □作品制作 □課題&実習 ■その他()		
		100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2／3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	授業計画および学習内容			
	週・1回	週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
	1	Warming UP / Unit1		
	2	Unit2		
	3	Unit3(前)		
	4	Unit3(後)		
	5	Unit4(前)		
	6	Unit4(後)		
	7	Unit5(前)		
	8	Unit5(後)		
	9	単位認定試験		
	10	フィードバック		
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			
	17			
	18			
	19			
20				

令和 7 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	比較文化論	Comparative Culture	
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	講義	単位数	2単位
4	学年・期	1年後期		
5	到達目標	日本文化を軸にアジアや欧米の国々の文化と比較し、それぞれの特徴や現代の課題を幅広い視点から探求します。		
6	授業の概要	1年前期のビジネスリテラシーの授業で培った知識を基礎に、異文化理解についてさらに理解を深めます。さらに日本語の接遇表現を学び、会社や学校で正しい敬語を使うことができる力を培います。		
7	成績評価方法	■筆記テスト □レポート □作品制作 □課題&実習 □その他()		
		100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2／3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	授業計画および学習内容			
	週・1回	週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
	1	異文化の3つのステップ		
	2	日本人が大切にしていること		
	3	和の精神		
	4	ウチとソト		
	5	敬語の種類		
	6	間違いやすい敬語		
	7	クッション言葉		
	8	会話の方法		
	9	言語・非言語コミュニケーション		
	10	異文化コミュニケーション		
	11	言葉づかい、おもてなし		
	12	日本の贈り物のマナー		
	13	各国の文化・習慣・タブー		
	14	食事の基本マナー		
	15	和食のマナー		
	16	洋食のマナー		
	17	パーティー・お酒のマナー		
	18	ご高齢・障害のある方への接し方		
	19	総まとめ		
	20	単位認定試験		

令和 7 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	表現研究 I		Rhetorical Techniques I
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	講義	単位数	2 単位
4	学年・期	1年前期		
5	到達目標	日本の接遇表現を学びながら、面接やスピーチに適した話し方について知ります。		
6	授業の概要	中級レベルの語彙と文法を復習するとともにすでに持っている知識を活性化する。また、日本語で見聞きしたことについて分析的・批判的に考え、論理的な意見を積極的に述べられるようになる。		
7	成績評価方法	■筆記テスト □レポート ■作品制作 □課題&実習 □その他()		
		100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2／3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	授業計画および学習内容			
	週・2回	週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
	1	Unit1丁寧に読む		
	2	Unit1素早く読む、聞く		
	3	Unit1発表		
	4	Unit2丁寧に読む、素早く読む		
	5	Unit2聞く、ディベート事前準備		
	6	Unit2ディベート		
	7	Unit3丁寧に読む、素早く読む		
	8	Unit3聞く、ディスカッション事前準備		
	9	Unit3ディスカッション		
	10	Unit4丁寧に読む、素早く読む、聞く		
	11	Unit4発表		
	12	Unit5丁寧に読む、素早く読む、聞く		
	13	Unit5発表		
	14	Unit6丁寧に読む、素早く読む、聞く		
	15	Unit6ディベート		
	16	Unit7丁寧に読む、素早く読む、聞く		
	17	Unit7発表		
	18	Unit8丁寧に読む、素早く読む、聞く		
	19	Unit8発表		
20	単位認定試験			

令和 7 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	表現研究 I		Rhetorical Techniques II
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	講義	単位数	3 単位
4	学年・期	1年後期		
5	到達目標	様々な場面において自分の考えに対する相手の承認や意思決定を促すプレゼンテーション力を身に着けます。		
6	授業の概要	中級後半レベルの語彙と文法を復習するとともにすでに持っている知識を活性化 する。 また、日本語で見聞きしたことについて分析的・批判的に考え、論理的な意見を積 極的に述べられるようになる。		
7	成績評価方法	■筆記テスト □レポート ■作品制作 □課題&実習 □その他()		
		100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1 割)、その他(1割)を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2／3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	授業計画および学習内容			
	週・2回	週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
	1	Unit1丁寧に読む、素早く読む、聞く		
	2	Unit1プレゼンテーション		
	3	Unit2丁寧に読む、素早くに読む、聞く		
	4	Unit2プレゼンテーション		
	5	Unit3丁寧に読む、素早く読む、聞く		
	6	Unit3プレゼンテーション		
	7	Unit3丁寧に読む、素早く読む、聞く		
	8	Unit3プレゼンテーション		
	9	Unit3丁寧に読む、素早く読む、聞く		
	10	Unit3プレゼンテーション		
	11	Unit3丁寧に読む、素早く読む、聞く		
	12	Unit3プレゼンテーション		
	13	Unit3丁寧に読む、素早く読む、聞く		
	14	Unit3プレゼンテーション		
	15	単位認定試験		
	16			
	17			
	18			
	19			
	20			

令和 7 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	プレゼンテーション	Presentation Skills	
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	講義	単位数	2単位
4	学年・期	1 年 前期		
5	到達目標	ディスカッションやプレゼンテーションを通して、意見の表現方法を学んだり、パワーポイントを使用した発表にも挑戦します。		
6	授業の概要	資料や視覚材料を活用し、効果的に自分の意見を伝える方法について学びます。		
7	成績評価方法	■発表 □レポート □作品制作 ■課題&実習 □その他()		
		100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。なお、当該科目の出席率が2／3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	授業計画および学習内容			
	週・1回	週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
	1	聴衆分析		
	2	話題選び		
	3	話し手の心得		
	4	聞き手の役割		
	5	自己紹介		
	6	説明力を鍛える①		
	7	説明力を鍛える②		
	8	体験談の描写①		
	9	体験談の描写②		
	10	知識・情報伝達① ディスカッション		
	11	知識・情報伝達② ディスカッション		
	12	質疑応答① ディスカッション		
	13	質疑応答② ディスカッション		
	14	魅力を伝える①		
	15	魅力を伝える②		
	16	フリースピーチ①		
	17	フリースピーチ②		
	18	最終プレゼン準備①		
	19	最終プレゼン準備②		
20	プレゼン発表(単位認定試験)			

令和 7 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	異文化コミュニケーション	Intercultural Communication	
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	講義	単位数	2単位
4	学年・期	1年前期		
5	到達目標	他国と日本の文化の違いを理解し、考え方を尊重しながらコミュニケーションを取る方法を学びます。		
6	授業の概要	1年前期のビジネスリテラシーの授業で培った知識を基礎に、異文化理解についてさらに理解を深めます。さらに日本語の接遇表現を学び、会社や学校で正しい敬語を使うことができる力を培います。		
7	成績評価方法	■発表 □レポート □作品制作 ■課題&実習 □その他()		
		100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。なお、当該科目の出席率が2／3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	授業計画および学習内容			
	週・1回	週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
	1	異文化の3つのステップ		
	2	日本人が大切にしていること		
	3	和の精神		
	4	ウチとソト		
	5	敬語の種類		
	6	間違いやすい敬語		
	7	クッション言葉		
	8	会話の方法		
	9	言語・非言語コミュニケーション		
	10	異文化コミュニケーション		
	11	言葉づかい、おもてなし		
	12	日本の贈り物のマナー		
	13	各国の文化・習慣・タブー		
	14	食事の基本マナー		
	15	和食のマナー		
	16	洋食のマナー		
	17	パーティー・お酒のマナー		
	18	ご高齢・障害のある方への接し方		
	19	総まとめ		
20	単位認定試験			

令和 7 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	言語表現	Verbal expression	
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	講義	単位数	3単位
4	学年・期	1年後期		
5	到達目標	文学作品、漫画、映画、SNSやブログで使われる言語表現を理解した上で、自己の考えを的確に表現・発信する力を磨きます。		
6	授業の概要	自分の考えをまとめ、相手に正確に伝えて、相手が正しく理解できるようなプレゼンテーションを身に着けます。		
7	成績評価方法	■発表 □レポート □作品制作 ■課題&実習 □その他()		
		100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。なお、当該科目の出席率が2／3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	授業計画および学習内容			
	週・2回	週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
	1	プ:Lesson2 扉・step1→グループワーク企画		
	2	プ:Lesson2 step4発表 自己評価		
	3	プ:Lesson4 step3 表現確認 ビデオ作り		
	4	プ:Lesson4 Step3 最終確認 Step 4 順番決め		
	5	プ:Lesson4 扉・step1 →グループワーク制作		
	6	プ:Lesson4 step3 表現確認 ビデオ作り		
	7	プ:Lesson5 扉・step1→調査(賛成意見・反対意見)提案		
	8	プ:Lesson5 step4 発表 (グループ)代表発表		
	9	ビブリオバトル 本選び、プレゼン作成		
	10	ビブリオバトル本選び、プレゼン作成発表 ビブリオバトル 決勝戦		
	11	Lesson6 扉・step1 → PPTを使った個人自由プレゼンテーション		
	12	Lesson6 step2,3 アンケート、文献、意見、調査 発表準備		
	13	個人プレゼンテーションno1		
	14	個人プレゼンテーションno2		
	15	個人プレゼンテーションno3		
	16			
	17			
	18			
19				
20				

令和 7 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	論作文 I	Essay writing I	
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	演習	単位数	1単位
4	学年・期	1年前期		
5	到達目標	論作文において必要となる論理的思考力を養います。身近なテーマをもとに理由の述べ方などのスキルを身につけます。		
6	授業の概要	・EJUの記述で35点以上を目標に対策・強化を図る ・大学(院)出願のための志望理由書・研究計画書を作成し、完成させる		
7	成績評価方法	□筆記テスト ■レポート □作品制作 ■課題&実習 □その他(		

令和 7 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	論作文 I	Essay writing II	
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	演習	単位数	2単位
4	学年・期	1年通年		
5	到達目標	文書構造に関する知識や論理構造に関する知識を身につけ、読む力を効率的に身につけながら、論作文の表現技術について学びます。		
6	授業の概要	研究計画書、小論文でよく使われる文の形、語と表現、引用、句読点、標記規則、論文の構成について学習します。		
7	成績評価方法	□筆記テスト ■レポート □作品制作 ■課題&実習 □その他()		
		100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。なお、当該科目の出席率が2／3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	授業計画および学習内容			
	週・1回	週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
	1	テーマを述べる		
	2	理由の表現		
	3	時間の表現		
	4	定義をする		
	5	EJU 記述対策①		
	6	判明していることを述べる		
	7	判明していることを述べる		
	8	問題点を述べる		
	9	問題点を述べる		
	10	引用する		
	11	引用する		
	12	EJU 記述対策②		
	13	解決策を述べる		
	14	解決策を述べる		
	15	手順を述べる		
	16	手順を述べる		
	17	指示詞を使う		
	18	指示詞を使う		
	19	EJU 記述対策③		
20	単位認定試験			

令和 7 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	現代社会 I		Social Studies I
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	演習	単位数	1単位
4	学年・期	1年前期		
5	到達目標	教養として、また日本留学試験の総合科目の基礎固めとして、現代世界の特色と諸課題の地理的考察について学びます。		
6	授業の概要	政治・経済・社会を中心として地理、歴史の各分野で多文化理解の視野からみた現代の世界と日本について考える。		
7	成績評価方法	□筆記テスト ■レポート □作品制作 ■課題&実習 □その他()		
		100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。なお、当該科目の出席率が2／3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	授業計画および学習内容			
	週・1回	週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
	1	【政治・経済】現代の社会		
	2	【政治・経済】現代の社会		
	3	【政治・経済】現代の経済		
	4	【政治・経済】現代の経済		
	5	【政治・経済】現代の国際社会		
	6	【政治・経済】現代の国際社会		
	7	【政治・経済】現代の国際社会		
	8	【地理】地球儀と地図, 距離と方位, 空中写真と衛星画像		
	9	【地理】地球儀と地図, 距離と方位, 空中写真と衛星画像		
	10	試験		
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			
	17			
	18			
	19			
20				

令和 7 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	現代社会Ⅱ		Social Studies Ⅱ
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	演習	単位数	2単位
4	学年・期	1年通年		
5	到達目標	教養として、また日本留学試験の総合科目の基礎固めとして、日本、世界の近代史について学びます。		
6	授業の概要	政治・経済・社会を中心として地理、歴史の各分野で多文化理解の視野からみた現代の世界と日本について考える。		
7	成績評価方法	□筆記テスト ■レポート □作品制作 ■課題&実習 □その他()		
		100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。なお、当該科目の出席率が2／3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	授業計画および学習内容			
	週・1回	週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
	1	単位説明、授業内容、教科書確認		
	2	産業革命, アメリカ独立革命, フランス革命		
	3	産業革命, アメリカ独立革命, フランス革命		
	4	産業革命, アメリカ独立革命, フランス革命		
	5	国民国家の形成, 帝国主義と植民地化, 日本の近代化とアジア		
	6	国民国家の形成, 帝国主義と植民地化, 日本の近代化とアジア		
	7	第一次世界大戦とロシア革命, 世界恐慌		
	8	第一次世界大戦とロシア革命, 世界恐慌		
	9	第二次世界大戦と冷戦, アジア・アフリカ諸国の独立		
	10	第二次世界大戦と冷戦, アジア・アフリカ諸国の独立		
	11	世界の諸地域 (アジア)		
	12	世界の諸地域 (アフリカ)		
	13	日本の戦後史, 石油危機, 冷戦体制の崩壊		
	14	日本の戦後史, 石油危機, 冷戦体制の崩壊		
	15	世界の諸地域 (ヨーロッパ)		
	16	世界の諸地域 (西北東ヨーロッパ、ロシア)		
	17	世界の諸地域 (アメリカ)		
	18	世界の諸地域 (南アメリカ)		
	19	世界の諸地域 (オセアニア)/日本のすがたと世界と比べる		
	20	期末試験		

令和 7 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	世界事情	Global affairs	
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	演習	単位数	2単位
4	学年・期	1年前期		
5	到達目標	ニュース時事能力検定試験の教材を使用しながら、新聞やテレビのにゅー報道を読み解き、時事力を養います。		
6	授業の概要	指定テキストを使用し、各单元ごとにミニテストを実施。必要に応じて各種映像、書籍の引用、プリント配布などを行う。		
7	成績評価方法	□筆記テスト ■レポート □作品制作 ■課題&実習 □その他()		
		100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。なお、当該科目の出席率が2／3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	授業計画および学習内容			
	週・1回	週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
	1	市民革命と産業革命		
	2	市民革命と産業革命		
	3	国民国家の形成		
	4	国民国家の形成		
	5	国民国家の形成		
	6	帝国主義と植民地化		
	7	帝国主義と植民地化		
	8	帝国主義と植民地化		
	9	日本の近代化とアジア		
	10	日本の近代化とアジア		
	11	日本の近代化とアジア		
	12	第一次世界大戦とロシア革命		
	13	第一次世界大戦とロシア革命		
	14	世界恐慌から第二次世界大戦へ		
	15	世界恐慌から第二次世界大戦へ		
	16	冷戦と現代の世界		
	17	冷戦と現代の世界		
	18	総復習		
	19	試験		
20	フィードバック			

令和 7 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	文芸翻訳	literary translation	
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	演習	単位数	2単位
4	学年・期	1年後期		
5	到達目標	母国語の文章を自然な日本語に翻訳するための技法を学びます。		
6	授業の概要	本授業では、英語と日本語の間での文芸翻訳に必要な語学力・表現力・文化理解を養います。小文芸作品を取り上げ、原文の文体やニュアンスを正確かつ自然に再現するための技術と感性を磨きます。基本的な翻訳演習とフィードバックを通じて、創造的かつ批判的に翻訳に向き合う力を身につけます。		
7	成績評価方法	□筆記テスト ■レポート □作品制作 ■課題&実習 □その他()		
		100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。なお、当該科目の出席率が2／3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	授業計画および学習内容			
	週・1回	週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
	1	文芸翻訳とは何か		
	2	翻訳の基本と翻訳理論の紹介		
	3	英日とその他言語翻訳①: 短編小説の冒頭部		
	4	英日英日とその他言語翻訳②: 地の文と会話文の訳し分け		
	5	英日とその他言語翻訳③: 登場人物の個性と訳語選択		
	6	英日とその他言語翻訳④: 比喻と描写の翻訳		
	7	英日とその他言語翻訳⑤: 詩の翻訳に挑戦		
	8	英日とその他言語翻訳⑥: 児童文学の翻訳		
	9	翻訳実践①: 短編全体の翻訳演習		
	10	中間発表、講評		
	11	中間発表、講評		
	12	日英とその他言語翻訳①: 近代日本文学の英訳		
	13	日英とその他言語翻訳②: 和語と漢語の扱い方		
	14	日英とその他言語翻訳③: 文体の再現		
	15	日英とその他言語翻訳④: 文化的要素と異文化対応		
	16	翻訳実践②: 創作的翻訳ワークショップ		
	17	プロの翻訳を読む②: 訳し方の違いから学ぶ		
	18	期末課題発表準備		
	19	期末発表		
20	フィードバック			